

2012年度総会議案書

第1号議案 役員選任（案）承認の件

第2号議案 2011年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

第3号議案 2012年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

2012年6月18日

弘済会館

イベント学会

第1号議案

役員選任（案）承認の件

（1）理事・監事選任（案）

（2）役付き理事選任（案）

1）会長・理事長選任

2）その他の役付き理事選任

（3）事務局長交代（案）

2012 年度理事候補者名簿

(1) 理事・監事選任

表 1 : 個人会員当選(10 位以内) 選理事候補者 (敬称略) 10 名

順位	得票	氏 名	現在役職	所 属
1	74	小林 政則	常務理事	イベント学会 事務局長
2	64	堺屋 太一	会長	(株)堺屋太一研究所 代表取締役
3	58	野川 春夫	副会長	順天堂大学 教授
4	54	橋爪 紳也	副会長	大阪府立大学 特別教授
5	47	師岡 文男	理事	上智大学 教授
6	46	川本 直彦	副会長	法政大学 S S I 講師
7	38	宮木 宗治	理事	静岡文化芸術大学 講師
8	38	森 隆一	副理事長	(株)電通 特別顧問
9	35	北本 正孟	副会長	(株)カントリー 代表取締役
10	35	望月 照彦	副会長	多摩大学大学院 教授

表 2 : 会長・理事長推薦による理事候補者 (50 音順・敬称略) 10 名

新

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
個人会員	浅葉 克己	理事	(株)浅葉克己デザイン室
個人会員	井関 利明	理事	慶応義塾大学 名誉教授
個人会員	岩崎 博	理事	エスシー・プランニング・オフィス 代表
個人会員	梶原 貞幸	理事	エス・エフメーカーズ(株) 取締役
個人会員	加藤 良子		(株)エンコーポレーション 代表取締役
個人会員	間藤 芳樹	理事	羽衣国際大学 客員教授
個人会員	マリ クリスティーナ	理事	エムキューブインターナショナル
個人会員	光井 勇人	理事	(株)エイジ・エンタテインメント 代表取締役社長
個人会員	宮地 克昌	理事	福山大学 客員教授
個人会員	宮本 倫明	理事	ランダアソシエイツ 代表

表 3 : 法人会員理事候補者 (法人名 50 音順・敬称略) 10 社

会員種類	法 人 名	現在役職	会員代表者名	代表者役職
法人会員	(株)アサツーディ・ケイ	理事	長沼孝一郎	代表取締役 取締役会議長
法人会員	(株)新東通信	理事	谷 喜久郎	代表取締役会長
法人会員	(株)丹青社	理事	渡辺 亮	取締役会長
法人会員	T S P 太陽(株)	副理事長	広岡 正明	代表取締役社長
法人会員	(株)テー・オー・ダブリュー	副理事長	川村 治	代表取締役会長兼社長
法人会員	(株)電通	副理事長	森 隆一	特別顧問
法人会員	(株)東急エージェンシー	理事	桑原 常泰	代表取締役社長
法人会員	(社)日本イベント産業振興協会	理事	太田 正治	専務理事
法人会員	(株)乃村工藝社	副理事長	渡辺 勝	代表取締役社長
法人会員	(株)博報堂	理事長	成田 純治	代表取締役会長

表4 監事候補者（50音順・敬称略） 2名

会員種類	氏名	現在役職	所属
個人会員	園田 榮治	監事	(株)インタープラン 代表取締役会長
個人会員	原田 周平	監事	日本経済新聞社 クロスメディア営業局

(2) 役付き理事選任

1) 会長・理事長選任候補

表5 理事互選による会長候補者（敬称略）

会員種類	氏名	現在役職	所属
個人会員	堺屋 太一	会長	(株)堺屋太一研究所 代表取締役

表6 理事互選による理事長候補者（敬称略）

会員種類	氏名	現在役職	所属
法人会員	成田 純治	理事長	(株)博報堂 代表取締役会長

2) その他役付き理事選任候補者

表7 会長推薦による副会長候補者（50音順・敬称略）

会員種類	氏名	現在役職	所属
個人会員	川本 直彦	副会長	法政大学 S S I 講師
個人会員	北本 正孟	副会長	(株)カントリー 代表取締役
個人会員	野川 春夫	副会長	順天堂大学 教授
個人会員	橋爪 紳也	副会長	大阪府立大学 特別教授
個人会員	望月 照彦	副会長	多摩大学大学院 教授

表8 理事長推薦による副理事長候補者（50音順・敬称略）

会員種類	氏名	現在役職	所属
法人会員	川村 治	副理事長	(株)テー・オー・ダブリュー 代表取締役会長兼社長
法人会員	広岡 正明	副理事長	T S P 太陽(株) 代表取締役社長
個人会員	森 隆一	副理事長	(株)電通 特別顧問
法人会員	渡辺 勝	副理事長	(株)乃村工藝社 代表取締役社長

事務局長交代について

氏名	現在の役職	新役職
小林 政則	事務局長	退任
小西 功一	事務局次長	事務局長

2012 年度イベント学会役員名簿

(2012 年 6 月現在)

役 職	会員種類	氏 名	所 属
会 長	個人会員	堺屋 太一	(株)堺屋太一研究所 代表取締役
理事長	法人会員	成田 純治	(株)博報堂 代表取締役会長
副会長	個人会員	川本 直彦	法政大学 S S I 講師
副会長	個人会員	北本 正孟	(株)カントリー 代表取締役
副会長	個人会員	野川 春夫	順天堂大学 教授
副会長	個人会員	橋爪 紳也	大阪府立大学 特別教授
副会長	個人会員	望月 照彦	多摩大学大学院 教授
副理事長	法人会員	川村 治	(株)テー・オー・ダブリュー 代表取締役会長兼社長
副理事長	法人会員	広岡 正明	T S P 太陽(株) 代表取締役社長
副理事長	個人会員	森 隆一	(株)電通 特別顧問
副理事長	法人会員	渡辺 勝	(株)乃村工藝社 代表取締役社長
理 事	個人会員	浅葉 克己	(株)浅葉克己デザイン室
理 事	個人会員	井関 利明	慶応義塾大学 名誉教授
理 事	個人会員	岩崎 博	エスシー・プランニング・オフィス 代表
理 事	個人会員	梶原 貞幸	エス・エフメーカーズ(株) 取締役
理 事	個人会員	加藤 良子	(株)エンコーポレーション 代表取締役
理 事	個人会員	小林 政則	イベント学会 事務局
理 事	個人会員	間藤 芳樹	羽衣国際大学 客員教授
理 事	個人会員	マリ クリスティーヌ	エムキューブインターナショナル
理 事	個人会員	光井 勇人	(株)エイジ・エンタテインメント 代表取締役社長
理 事	個人会員	宮木 宗治	静岡文化芸術大学 講師
理 事	個人会員	宮地 克昌	福山大学 客員教授
理 事	個人会員	宮本 倫明	ランダアソシエイツ 代表
理 事	個人会員	師岡 文男	上智大学 教授
理 事	法人会員	長沼 孝一郎	(株)アサツーディ・ケイ 代表取締役 取締役会議長
理 事	法人会員	谷 喜久郎	(株)新東通信 代表取締役会長
理 事	法人会員	渡辺 亮	(株)丹青社 取締役会長
理 事	法人会員	森 隆一	(株)電通 特別顧問
理 事	法人会員	桑原 常泰	(株)東急エージェンシー 代表取締役社長
理 事	法人会員	太田 正治	(社)日本イベント産業振興協会 専務理事
監 事	個人会員	園田 榮治	(株)インタープラン 代表取締役会長
監 事	個人会員	原田 周平	日本経済新聞社 クロスメディア営業局

個人理事 10 名、法人理事 10 名、会長・理事長推薦理事 10 名、監事 2 名 計 32 名

第2号議案

2011年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

(1) 2011年度活動報告（案）

(2) 2011年度決算書（案）

(1) 2011年度活動報告(案)

① 2011年(第14回)研究大会 (参加者 410名)

■会期：2011年9月7日(水)～8日(木)

■会場：KFCホール(東京都墨田区横網1-6-1国際ファッションセンタービル)

■後援：墨田区、すみだ地域ブランド推進協議会、東京商工会議所墨田支部
一般社団法人墨田区観光協会、向島学会

■テーマ：～イベントが都市を創造する～

■コンセプト：東京スカイツリーの出現と街づくりイベントの可能性

【9月7日(水)】1日目

12:00～ 17:00	★展示ブース発表 すみだ地域ブランド品、東京スカイツリー、法人会員など 10ブースが出展	KFCホール後 方ホワイエな ど
13:00	開会式「開会宣言」 師岡文男 大会実行委員長(イベント学会理事、上智大学教授) 開会挨拶 堺屋太一 イベント学会会長 来賓挨拶 山崎 昇 墨田区長	KFCホール 参加者280名
13:15 (50分)	「基調講演」～タワーとイベントの歴史～ 橋爪紳也(イベント学会副会長、大阪府立大学特別教授)	
14:05 (90分) 終了15:35	「シンポジウム」 ～東京スカイツリーの出現と街づくりイベントの可能性～ 【モデレーター】 水野誠一氏：すみだ地域ブランド推進協議会理事長 【パネリスト】 阿部貴明氏：墨田区観光協会理事長 鈴木道明氏：東武タワースカイツリー(株)取締役社長 鈴木重美氏：タワー評論家 宮木宗治氏：静岡文化芸術大学 講師	
16:00～ 17:30	「レセプション」 主催者挨拶：成田純治 イベント学会理事長 プレゼン：佐原滋元氏：向島百花園「茶亭さはら」亭主	ホワイエ 参加者150名
17:30～	「オプションツアー」 ① 本所・両国・錦糸町コース(参加者5名) ② 向島・墨堤コース(参加7名)	墨田区観光協 会の企画提案

【9月8日(木)】2日目

10:00～16:00	口頭発表(1組：20分) 研究発表・事例発表 発表者21組	会議室を2室使用 参加者延べ130名
10:00～16:30 (13:00～14:00)	ポスター発表 発表者4組	口頭発表の教室(壁面)
16:30～17:00	閉会式	口頭発表の教室

②研究助成（2件）

募 集：6月1日募集開始～締め切り8月15日

審 査：8月23日審査会開催、発表：9月1日

報 告：2012年3月31レポート提出、学会Webに掲載

（助成対象研究）申請4件中から下記の2件を選出

研究者	研究テーマ
安藤美奈会員 橋本幸子会員	イベントの情報入手に関する調査：展示施設来場者の情報入手方法について －有料展示と無料展示の比較から－（助成金）174,000円
貝辻正利会員 北後明彦会員	大規模イベントの会場アクセス動線上における高密度群集滞留に起因する雑踏事故発生メカニズムに関する研究（助成金）200,000円

③イベント学研究会（4テーマ 11回開催 参加者215名）

- ◎「復興イベント研究会」①5月16日（24名）②5月30日（20名）③6月6日（31名）
④6月13日（22名）⑤7月4日（22名）⑥2012年3月2日（23名）
- ◎「イベントマネジメント研究会」①6月16日（15名）②2012年3月22日（7名）
- ◎「中国イベント研究会」①5月27日（20名）②6月24日（13名）③12月9日（12名）
- ◎「IRイベント研究会」2月15日（6名）

④大学支援

- ★上智大学公開講座「イベント学入門」後援と講師紹介（会員講師9名）、
10月～1月に10講座実施。受講生（12名）

⑤ 交流活動

『金曜サロン』東京、京都、大阪で8回開催、参加者461名
4月22日（23名）、5月27日（23名）、6月24日（27名）、7月15日（53名・京都）、
10月28日（21名）、12月9日（31名）、1月27日（39名・大阪）、2月24日（35名）

『会員交流イベント』3回開催、参加者86名

7月7日（七夕サロン/法人会員暑気払い・36名）

12月22日（シルバークリスマス/忘年会・15名）

1月28日（新春サロン/賀詞交歓会・35名）

⑥ 広報活動

「イベントロジー第25号」：7月11日発行。総会報告、活動計画紹介、研究大会参加者募集

「イベントロジー第26号」：11月18日発行。研究大会特集

「メールマガジン」：イベント学会ニュース（毎月初旬に定期配信、随時臨時号）

「学会Web」：研究大会、イベント学研究会、金曜サロン、交流イベントの参加者募集

研究助成募集、報告書・発表論文掲載、会員情報掲載、フォトギャラリー
「Facebook」：会員による投稿・交流サイト
「イベント JAPAN2011」：4月19日～20日（東京ビッグサイト ブース出展）
「イベント学のすすめ」「会員著作物」などの紹介

⑦ イベント関連団体との連携

- ★JACE（日本イベント産業振興協会）、JEPC（日本イベントプロデュース協会）
JEDIS（日本イベント業務管理者協会）とともにイベントJAPAN2011に参加。
- ★上記各団体の総会、賀詞交歓会、交流会などに参加。
- ★研究大会の開催に際しては各団体より運営支援などの協力を得た。

⑧ 2012年度活動準備

- ★2012年役員選挙
選挙管理委員会・準備会：2月10日（準）、2月24日（準）、3月23日
- ★2012年研究大会
実行委員会・準備会：11月30日（準）、12月5日（準）、2月3日、3月5日

以上

(2)2011年度決算書案 自11年4月1日至12年3月31日

収入の部					
科目名	11年度予算	11年度決算	差額	備考	
入会金収入	300,000	145,000	-155,000		
年会費収入 個人	1,400,000	1,510,000	110,000		
年会費収入 準会員	30,000	10,000	-20,000		
年会費収入 自治体会	0	0	0		
年会費収入 法人会員	6,200,000	6,499,790	299,790		
事業収入 研究大会	900,000	1,240,000	340,000		
事業収入 交流サロン等	300,000	261,272	-38,728		
受取利息	0	320	320		
当期収入計	9,130,000	9,666,382	536,382		
前期繰越	2,404,591	2,404,591	-		
収入合計	11,534,591	12,070,973	536,382		
支出の部					
科目名	11年度予算	11年度決算	差額		
事業費 研究大会	3,000,000	2,961,277	-38,723		
事業費 年次大会	0	0	0		
事業費 広報事業	1,400,000	1,705,792	305,792		
事業費 研究助成	400,000	384,081	-15,919		
事業費 交流サロン等	300,000	422,021	122,021		
給与・通勤費	2,350,000	2,279,232	-70,768		
会議費	500,000	584,632	84,632		
旅費交通費	400,000	501,750	101,750		
消耗品費	100,000	96,347	-3,653		
通信運搬費	500,000	469,287	-30,713		
印刷費	300,000	345,575	45,575		
賃借料	300,000	400,000	100,000		
資料費	30,000	1,638	-28,362		
謝金	30,000	55,000	25,000		
会場費	100,000	51,950	-48,050		
支払手数料	15,000	25,938	10,938		
雑費	150,000	158,142	8,142		
当期支出計	9,875,000	10,442,662	567,662		
当期収支差額	-745,000	-776,280	-31,280		
収支差額	1,659,591	1,628,311	-31,280		
次期繰越差額	1,659,591	1,628,311	-31,280		

監査報告書

イベント学会 会長 堺屋 太一様


監査報告書

2011年度の事業報告書および計算書類は、

適正かつ妥当であることを認めます。

2012年4月16日

イベント学会 監事 園田 榮治

園田 榮治 

イベント学会 監事 原田 周平

原田 周平 

第3号議案

2012年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

(1) 2012年度活動計画（案）

(2) 2012年度予算書（案）

(1) 2012年度活動計画(案)

◎基本方針

1) 大学、教育機関、研究機関との連携を図る交流活動と創造活動の展開

イベント学会の設立趣旨である「イベント研究の推進」と諸科学横断的な「交流の場」創造を目指して、大学や専門学校等の教育機関、政府や自治体の研究機関、企業・団体の研究部門、他の学会、イベント関連団体との連携活動を促進する。

2) 学会活動への会員の参加促進と新規会員の獲得

「イベント学研究助成金制度」や「イベント学研究会」を通じて、会員の研究活動の促進を図り、「研究大会」や「テーマ研究会」、「学会 Web」「Facebook」での発表機会を拡充する。また、「金曜サロン」などの「交流イベント」を各地で開催し、会員相互の交流と同時に会員と非会員の交流を図りながら新規会員の獲得を目指す。

①2012年(第15回)イベント学会研究大会

■会期：2012年(平成24年)9月11日(火)～12日(水)

■会場：仙台メディアテーク

■後援：仙台市(決定)、官公庁、媒体社、商工会議所、企業など(依頼中)

■内容：被災地の市民、日本の国民が困難を克服し、復興計画を実現するために

イベントが果たす役割と具体的なイベントの手法、プランを提言する。

初日は一般公開として「基調講演」「シンポジウム」「ブース展示」によりイベントによる復興の提言を行い、2日目は口頭、ポスター、展示などの方法により会員や地元団体によるさまざまな研究発表とパフォーマンスをおこなう。

■名称：「イベントサロン2012」(イベント学会第15回研究大会)

■テーマ：「こころの復興とイベント」

【1日目】9月11日(火)10:00～19:00

●開会式、講演・シンポジウム・ブース展示(一般公開)、交流パーティ(有料)

●場所：1階オープンスクエア(最大300席のうち200席程度を使用予定)

【2日目】9月12日(水)10:00～17:00

●口頭発表(7階スタジオシアター：180席)*有料

●ポスター発表、ブース展示(1階オープンスクエア)*一般公開

予 算：350万円

② 研究助成

募 集：3月20日から4月20日

審査発表：5月初旬

報 告：2013年6月下旬、機関誌(Web研究紀要)の創刊の検討を開始する

予 算：40万円(5件)

③ イベント学研究会と大学支援

趣 旨： イベント学の研究推進と会員相互の交流を図るため、前年度に引き続き特定テーマを設定のうえ研究発表、意見交換を行う。また、大学など教育機関が行うイベント学講座を後援して会員を講師として紹介し、イベント学科創設に向けた支援活動を行う。

テーマ研究会：「イベントマネジメント研究会」「復興イベント研究会」「中国イベント研究会」「IRイベント研究会」

大学支援：上智大学公開講座への後援と講師紹介

予 算：10万円（年間5回程度）

④ 交流イベント（金曜サロン、交流サロン）

趣 旨：イベントに関連する技術、商品、サービスなどの情報を会員間で共有すると同時に、非会員との交流を図りながら新規会員獲得を目指す。

また、イベント産業への就職を志望する学生などに向けて業界の現場を紹介する交流サロンを開催し産学の交流に寄与する。

会場地：東京、大阪など

予 算：30万円（年間10回程度）

⑤ 広報活動

趣 旨：会員の参加を得て研究発表や寄稿などのコンテンツを積極的に発信し、会員相互の交流と学会活動のPR、新規会員獲得を目指す。

メディア：「会報イベントロジー」

- ・研究大会特集を11月に発行。イベント関係団体、関連学会にも配布。

「学会Web」

- ・研究大会、イベント学研究会、交流イベントの参加者募集、会員の活動紹介を中心に編集・運営する。また研究助成論文などを掲載することによりデータの共有化とアーカイブ化を目指す。

「メールマガジン」「学会Facebook」

- ・交流イベントの開催告知などカジュアルな情報を随時発信する。

予 算：170万円

⑥その他

- ・JACE（日本イベント産業振興協会）、JEPC（日本イベントプロデューサー協会）
JEDIS（日本イベント業務管理者協会）などイベント関連団体との連携を進める。
- ・創立15周年記念事業計画の検討開始

以上

2012年度予算書(案)

自12年4月1日 至13年3月31日

収入の部		
科目名	11年度決算	12年度予算
入会金収入	145,000	300,000
年会費収入 個人	1,510,000	1,500,000
年会費収入 準会員	10,000	50,000
年会費収入 自治体会	0	0
年会費収入 法人会員	6,499,790	6,500,000
事業収入 研究大会	1,240,000	800,000
事業収入 交流サロン等	261,272	300,000
受取利息	320	0
当期収入計	9,666,382	9,450,000
前期繰越	2,404,591	1,628,311
収入合計	12,070,973	11,078,311
支出の部		
科目名	11年度決算	12年度予算
事業費 研究大会	2,961,277	3,500,000
事業費 年次大会	0	0
事業費 広報事業	1,705,792	1,700,000
事業費 研究助成	384,081	400,000
事業費 交流サロン等	422,021	400,000
給与・通勤費	2,279,232	900,000
会議費	584,632	600,000
旅費交通費	501,750	600,000
消耗品費	96,347	50,000
通信運搬費	469,287	450,000
印刷費	345,575	200,000
賃借料	400,000	420,000
資料費	1,638	30,000
謝金	55,000	30,000
会場費	51,950	50,000
支払手数料	25,938	20,000
雑費	158,142	100,000
当期支出計	10,442,662	9,450,000
当期収支差額	-776,280	0
収支差額	1,628,311	1,628,311
次期繰越差額	1,628,311	1,628,311